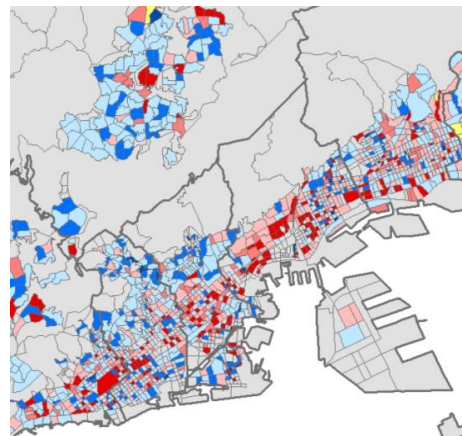


大都市内部の空き地・空き家を活用したまちづくり

政策科学研究所 和田 真理子

キーワード 人口減少・高齢化、都市問題、ニュータウン、インナーシティ、空き地・空き家**研究概要**

人口減少・高齢化が進む大都市の都市問題を分析し、地区レベルでのまちづくりの方向性を考察する研究を行っている。フィールドは主に、課題が集中している郊外ニュータウンとインナーシティである。人口減少下では成長地区と衰退地区がモザイク状に存在し、全体的な動向をふまえた上で地区に即した課題解決が必要である。地理情報システムを用いて問題地区を抽出し、フィールドワークで地区活性化の方向を探る。いずれの地域においても、人口減少とともに空閑地が発生しており、その柔軟な利活用による活性化が求められている。課題解決のためには、行政、住民、NPO・ボランティア、地区内外の事業者が緩やかなネットワークを形成することが重要である。

**アピールポイント**

兵庫県、神戸市、西宮市、三田市、篠山市、淡路市など、多数の自治体の審議会・研究会に参加している。フィールドの明舞団地(郊外ニュータウン)では、住み替え支援や公園の利活用などの活動に関わり、長田・兵庫地区(インナーシティ)では、空き家の利活用を介して進むアーティストの集積プロセスの調査を行っている。空き地・空き家問題はどの地域でも起こる可能性があり、応用可能性は高い。

応用分野

- ・自治体や地区の計画立案
- ・空き地・空き家を活用した活性化などの課題の地域に即した改善・解決